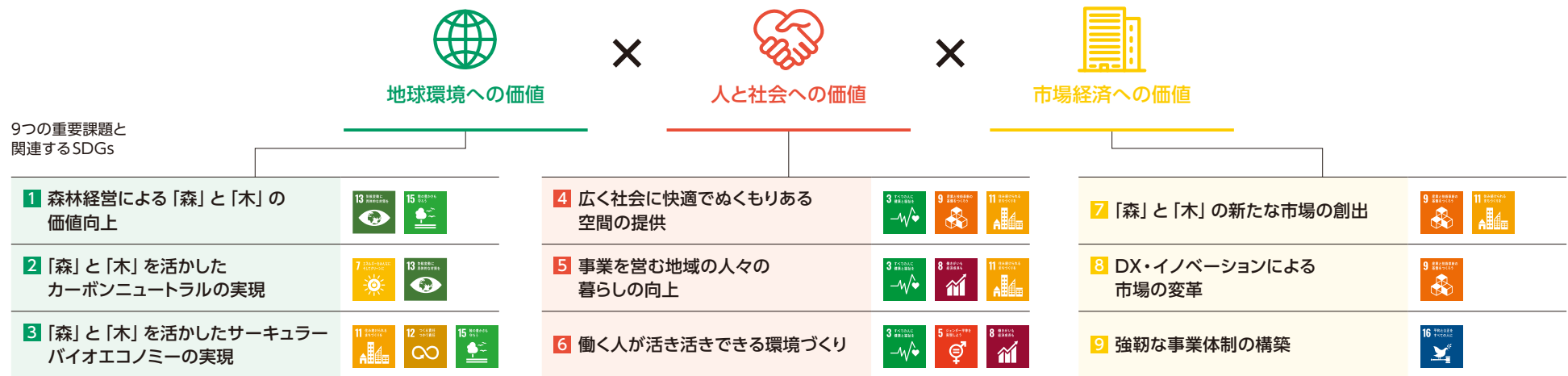


## 長期ビジョン概要

## Mission TREEING 2030

～地球を、快適な住まいとして受け継いでいくために～

私たちは、地球環境、人々の暮らしや社会、市場や経済活動に価値を提供することで、将来世代を含むあらゆる人々やすべての生き物に、地球が快適な住まいとして受け継がれていくことを目指します。これまでも強みとしてきた「森」と「木」の価値を活かし、深め、新たな未来の力へと変えていきます。



2050年の脱炭素社会実現を見据え、住友林業グループが目指すべき姿を具体的な事業構想に落とし込んだものが、長期ビジョン「Mission TREEING 2030」です。達成へのコミットメントを高めるため、長期ビジョンの目標年度は国連サミットで定められたSDGs（持続可能な開発目標）と同じ2030年としています。また、グループの生み出す価値を「地球環境への価値」「人と社会への価値」「市場経済への価値」に整理し、それぞれに紐づける形で9つの重要課題を特定しました。3つの価値のいずれも損なうことなく、それぞれの価値を同時に高めることにより、長期ビジョンの実現を目指していきます。

## 「Mission TREEING 2030」達成に向けた事業方針

- 1 森と木の価値を最大限に活かした脱炭素化とサーキュラーバイオエコノミーの確立
- 2 グローバル展開の進化
- 3 変革と新たな価値創造への挑戦
- 4 成長に向けた事業基盤の改革

業績目標

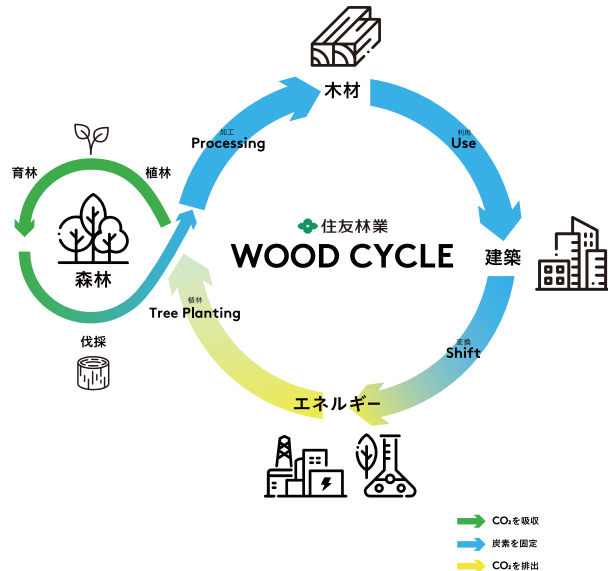
2030年 経常利益目標

3,500億円

## 長期ビジョン概要

### 「ウッドサイクル」を回し脱炭素社会実現へ

当社グループの特長は、再生可能な自然資本である「木」を軸とした川上から川下までのバリューチェーンである「ウッドサイクル」を回す事業活動にあります。「森林」分野での「循環型森林ビジネスの加速」、「木材」分野における「ウッドチェンジの推進」、そして「建築」分野での「脱炭素設計のスタンダード化」の3つを事業の柱として、森林経営から木材・建材の調達・製造、木造建築、木質バイオマス発電まで、脱炭素社会の実現につながるこれらすべての事業を展開し、独自のウッド・ソリューションを国内外で提供していきます。



### 住友林業のウッド・ソリューション



#### 循環型森林ビジネスの加速

森林ファンドを組成し、アジアを中心に世界中で森林や泥炭地を保護・拡大することで森林面積を拡大。他企業と社会のカーボンオフセットに貢献。

- 価値提供先  
CO<sub>2</sub>吸収価値を求める新たな顧客
- 脱炭素貢献  
CO<sub>2</sub>吸収

2030年達成目標

森林保有・管理面積

100万ha



#### ウッドチェンジの推進

木材コンビナートの設立による国内の林業・木材製造の効率化と、木材由来素材への代替による炭素固定量の増大に貢献。

- 価値提供先  
サプライチェーン上の取引先
- 脱炭素貢献  
CO<sub>2</sub>削減 (スコープ3-カテゴリ1)

2030年達成目標

木材コンビナート  
国産材使用量

100万m<sup>3</sup>/年



#### 脱炭素設計のスタンダード化

ZEH、ZEB、LCCM住宅、ネットゼロカーボンビル の普及と脱炭素設計 (One Click LCA<sup>\*1</sup> × EPD<sup>\*2</sup>) の確立で、他社・他者の脱炭素化に貢献。

- 価値提供先  
建築主 (一般消費者、企業)
- 脱炭素貢献  
CO<sub>2</sub>削減 (スコープ3-カテゴリ11)

2030年達成目標

年間住宅販売戸数

65,000戸 (国内外)

\*1 建物を建てる際のCO<sub>2</sub>排出量を見える化するソフト。当社は、日本単独代理店契約を締結。

\*2 定量的環境データを第三者機関が評価・認証した環境ラベル。

### 経常利益目標

